

令和6年度第3回萩警察署協議会会議録

開催日時		令和7年2月10日（月） 午後2時30分から午後4時10分までの間
開催場所		萩警察署3階 講堂
出席者	委員	内田委員、棕木委員、溝部委員、白松委員、岩本委員、山影委員、 大田委員、山本委員、榎谷委員 計9名
	警察署	署長、副署長、主幹兼会計課長、警務課長、生活安全課長、 地域第一兼第二課長、刑事課長、交通課長、警備課長 計9名
議題		1 所管業務説明 2 デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進
1 会長挨拶 暦の上では春になったが、先週から寒い日が続いている。このような中、お集まりいただき感謝している。 さて、去年は年明け早々に能登半島地震が発生し、一日も早い復興を願う一年であったが、今年は実に穏やかな年明けで、今年一年が穏やかに過ごせると思っていた。ところが、埼玉では道路の陥没事故が発生し、また、この度の大雪の影響で日本列島は大変な状況にあり、今年一年大丈夫なのかという気がしている。 このような中、萩警察署の皆様におかれては、市民町民目線で引き続き安全安心に全力を注がれており、感謝している。先日、明倫小学校で開催された交通教室がテレビ放映され、交通課長が笑顔で映し出されているのを見てホッとした。一方、闇バイト関連事案、交通事故、火災の発生もテレビ放映されており、不安に感じる方も多いことから、見守り活動をしていただきたい。 本日の諮問事項は『デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進』であり、私たちの生活に密着した内容でもあるので、忌憚のない意見を述べていただきたいと思います。 2 署長挨拶 (省略)		

3 所管業務説明（各課長）

- (1) 生活安全関係
 - 犯罪抑止対策上の指定犯罪等の認知状況
- (2) 刑事関係
 - 刑法犯認知・検挙状況
 - 主な検挙事件
- (3) 交通関係
 - 交通事故発生状況
 - 人身交通事故の主な特徴

4 前回の諮問事項に対する提言への取組状況（生活安全課長）

- (1) 闇バイト対策強化に関する提言
- (2) 保護者に対する広報の強化に関する提言
- (3) コンビニなど店員の声掛けによる防犯強化に関する提言

5 諮問事項説明（交通課長）

『デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進』をパワーポイントにより説明

6 協議・検討

（委員）

マイナ免許証と運転免許証は2枚あった方がよいのか。単なる好みの問題なのか。

（交通課長）

例えばマイナンバーカードを持ち歩きたくないなど、各人が生活スタイルなどにより選ばれるのではないかと思う。

（委員）

更新する場合、住所地を管轄する警察署で対応できるのか。県外の場合はどうするのか。

（交通課長）

現在の制度においても、住所地を管轄する警察署に限られてはいない。例えば美祢市居住の方が萩警察署の窓口に来てでも対応できるが、県外の場合は条件があり、優良の方であれば、手数料の関係で制約はあるものの、免許更新は可能である。

（委員）

3日前の更新手続で自動申請受付機を体験した。申請書を記載することもなく、免許証をかざすだけで済むので、とても良いものだと感じた。

免許証の発行については、萩警察署では即日交付ができず、一ヶ月くらいかかり、また、講習もあるので従来と変わらない。即日交付を希望するのであれば、山口の交通センターで手続きするようになる。

最近、運転免許の自主返納が叫ばれているが、デジタル化を進めていかなければいけないのか。「免許証を返せ」と言いながらデジタル化を進めるのは、逆行しているのではないか。

(交通課長)

県内では、約7割の方が即日交付施設を選択している。

現在、萩警察署では職員が機械の操作方法などを補助しているが、将来的には一人で操作してもらいたいと思っている。デジタル化を進めることによって、少ない人員で対応できる業務と手間がかかる業務を分け、手間がかかる業務には人員を厚くするなど、合理的かつ効率的に業務を進めていきたいと考えている。

一方、免許証の返納については、デジタル化とは別の施策である。高齢者による交通事故の特徴を見ると、その多くがアクセル、ブレーキの操作不適である。「店に突っ込んだ」などの事故も発生しており、次の危険を発生させないための施策として、免許返納を呼び掛けている。

矛盾に感じるかもしれないが、二つの施策を進めているということである。

(署長)

免許証の返納は、あくまでも運転が難しくなった高齢者に対する施策であり、免許のデジタル化は、免許更新の手続を簡素化して利便性を高めるための施策である。高齢であっても、運転技能等に問題のない方に「免許を返せ」とは言わない。あくまでも事故を頻繁に起こす方や、認知症の疑いがある家族から要請された場合などに返納を促している。

令和8年度には萩駅前に即日交付施設ができる予定で、そうなれば山口市まで行くこともなくなるので、そういった利便性が向上するような施策も進めている。

(委員)

マイナ免許証は、更新時に切り替えるのか。更新前にはできないのか。

マイナンバーカードと免許証が一つになると考えてよいのか。マイナンバーカードに免許証の履歴等が全て入っているということか。

(交通課長)

マイナ免許証の申請タイミングについて、まずは免許更新時における申請がある。将来的には、取扱いができる施設は「総合交通センター」「周南免許センター」「岩国署」「下関署」「萩免許センター」の5か所になる予定である。また、更新前であっても、任意により申請は可能である。

マイナ免許証の外見は従来のマイナンバーカードと同一であり、マイナンバーカードに免許情報が入っているだけで、カードの表面に免許情報が記載されるわけではない。

(委員)

更新手続について、事故をした人と無事故の人では差があるのか。

今は講習を受けるなどしているが、これからどのようなようになってゆくのか。

(交通課長)

現時点、今の制度と変わりはない。5年間無事故無違反の方であればいわゆるゴールドになり、軽微な違反があれば青色になる。

(委員)

講習も従前どおり受けるということによいか。

(交通課長)

現在実施している優良者講習や一般講習、違反者講習と同じである。

(委員)

デジタル化を進めることで、職員の業務がスリム化していくことは想像できるが、免許更新は毎日することではないので、数年後に更新するときには、また操作方法を聞くようになるのではないか。

(委員)

ＩＣチップに入っている更新時期などの情報は、どのように出せばよいのか。

(交通課長)

アプリを使って確認するようになると思う。

(委員)

アプリを入手すれば免許証の情報が出てくるのか。

(交通課長)

まだ詳細な情報が無い。

(委員)

市に住所変更を届け出たものの、免許住所を変更しなかった者が、数年後に免許証を取り直すこととなった。マイナ免許証にすると、市に住所の変更を届け出れば免許証も変更されるのか。

(交通課長)

それはワンストップサービスと呼ばれるものである。萩市内に転入する場合、市役所に届出をすれば、職員から「ワンストップ利用でいいですね。」などと確認され、それを了承すれば免許情報の住所も変更されるとのことである。

現在の制度では、システムで免許証の住所を変更しなければ前の住所地にハガキが送られてしまうので、免許を失効してしまったという事例を聞いたことがある。

(委員)

住所変更で市役所に来た方に対して、「免許証の住所変更もするように。」と声掛けするよう住民課に協力依頼すればよいのではないか。

(交通課長)

免許証の住所変更だけをお願いするのは難しいと思うが、転入時の声掛けの中で、免許証の住所変更も追加してもらえようお願いしていきたい。

(委員)

マイナンバーカードは皆さんが持っていて、保険証とひも付けされていると思うが、免許証もマイナンバーカードにひも付けすれば、更新しなくてもいいようになる

らないのか。

(交通課長)

現在、70歳になれば高齢者講習を受講し、75歳以上では認知機能検査と高齢者講習を受講することになっている。更新手続を面倒に思うかもしれないが、道路交通法の変更点を知ってもらう良い機会になると思っていただきたい。

(委員)

更新の通知は従来通り来るのか。

(交通課長)

そのとおりである。

(委員)

安全協会に入っていないと来ないのか。

(交通課長)

安全協会に入っていないから来ないというわけではない。

(委員)

マイナンバーカードは更新が必要なのか。

(署長)

10年で更新時期が来る。

(委員)

写真は撮り直さなくてもいいが、更新の申請は行うということか。

(署長)

免許更新の間隔が短いのは、視力や認知機能の検査をする必要があるためである。私自身、視力検査をすると視力の低下が気になるところであり、10年も開くと問題があるように思う。

(委員)

今の免許証には有効期限が記載されているので自分で確認できるが、マイナンバーカードにすると自分で気を付けるしかないと思う。

(委員)

仕事のこともあり、マイナンバーカードを紛失してしまうといけいないので、マイナンバーカードと免許証の両方を所持しようと考えている。

今の免許証は名前や住所が変わると裏面に印字されるが、マイナ免許証ではどうなるのか。

また、検問や職務質問を受けて免許証を提示する場合、従来の免許証に記載されている情報が見えなくなるが、どのように確認するのか。

(交通課長)

免許証とマイナ免許証の両方を持っている方については、マイナ免許証のデータICチップの交換と運転免許証の裏書きを実施することになる。

マイナ免許証の免許情報については、警察が持っている読み取り装置を使って読み取ることになる。

なお、マイナ免許証で交通違反歴や交通事故歴を知ることはできない。

(委員)

免許更新をして一ヶ月後くらいに免許証を受け取りに行くのは、かなりの負担があった。普通の免許証を持っている人が更新時にマイナ免許証に変更する場合、今の免許証を返納すれば即日で持ち帰ることができるのか。

(交通課長)

マイナ免許証は総合交通センターで即日交付が可能である。令和8年度からは萩の免許センターにおいても手続ができる予定である。

(委員)

仕事の関係で他人の免許証を見ることがあるが、免許証のカラーコピーを提出してもらったこともある。マイナ免許証に印刷機能を付け、各自で免許情報を印刷できたらよいのではないか。2枚持ちせずとも、アナログで携帯できるようにならないだろうか。

(委員)

個人的には、色々なカードが一つになるのは有難いと思っているが、一つになることによって様々な問題が出てくるかもしれない。その際には、警察などで対処していただきたいと思っている。

(委員)

マイナンバーカードを紛失した場合、再発行されるまで運転はできないのか。

(交通課長)

免許証不携帯となるので、車の運転はできない。

マイナ免許証を紛失した場合、再交付までに時間を要してしまうのが一番のネックになると思う。

(委員)

免許証を紛失した旨の証明証は出ないのか。

(交通課長)

証明書は出せない。警察に運転してよいかと聞かれれば「ダメだ。」と答える。法律で決められているので、運転してもよいとは言えない。

(委員)

免許証を事業者に見せる必要がある場合、今までは運転免許証のコピーを渡せばよかったが、マイナ免許証にした人はマイナカードをコピーすればよいのか。免許種別の証明を求める自動車関連の事業者などに対して、「これなら警察のお墨付き」のようなものはあるのか。

(交通課長)

現時点、こういった形になるのか分からない。銀行では免許証の情報を読み込んでいるようで、警察署に運転免許証の暗証番号を教えてほしい旨の問合せもある。既に免許証をコピーして渡すのではなく、免許証をかざしてその中の情報を読み取っている会社も存在する。

(委員)

マイナ免許証では免許証の情報しか確認できないのか。警察で他の情報も見られ

るようになるのか。

(交通課長)

警察では免許情報しか読み取れない。

(委員)

自転車のヘルメットについて、萩市でもお年寄りの方や子供の着用が増えてきたと思うが、今年の4月から義務化されるのか。

(交通課長)

努力義務化であり、義務化されるという話は聞いていない。

(委員)

前回の会議で萩市内の道路状況について話をしたところ、早速、萩市の道路管理課の方が来られた。あまり予算が無い中、去年の12月に2箇所対応していただき、子どもにとっても安全で優しい道になった。

(委員)

阿武町は3地区あるが、駐在所員には地域の行事や子育て関係の会議、お祭りなどにも積極的に参加していただいた。高齢者が多い地域であり、若い駐在所員が来ると大変人気になることから、町の活性化にも役立っているのではないかと感じている。いつも安全安心にご尽力いただき、駐在所員には感謝している。

(委員)

先日、駐在所に用事があったので、家から電話しようとした。駐在所には電話が無いので江崎幹部交番にかけようと思ったが、江崎幹部交番もつながらず、このような場合は、萩警察署に電話しなければならないという認識でよいか。仕方がないことだとは思いますが、何かあった際にはスピード勝負になるので、萩・須佐・田万川で連携しながら対応していただきたい。

(署長)

齟齬が生じないように対応していきたい。

(副署長)

急ぐときには、警察署に通報するよりも110番通報をしていただきたい。110番通報の方が、一斉に指令されるので迅速に対応することができる。

7 配付資料

- (1) 令和6年度第3回萩警察署協議会資料
- (2) 諮問事項資料

8 その他

- (1) 監察関係事案説明

令和6年12月及び令和7年1月における警察職員の懲戒処分事案について説明した。

- (2) 退任予定者挨拶

5月31日で3期目が任期満了となる委員が挨拶を行った。

(3) 次回日程

令和7年度第1回目の会議は、4月以降に日程調整することとした。